



つくし組だより



まだまだ朝晩の寒さは残るものの、日中は暖かい日差しが感じられるようになりました。寒い日でも「お外行きたい！」と上着を着て元気に園庭や公園を走り回るつくし組の子どもたち。これからの季節、春の植物や生き物に出会い、きっと目をキラキラ輝かせて発見を伝えてくれることと思います。

4月にはたんぽぽ組へと進級するにあたり、保育室も現在の部屋からお隣のたんぽぽ組保育室へと移動します。環境の変化に戸惑いや不安を感じるお子さんもいらっしゃるかと思いますが、そんな気持ちに寄り添いながら、4月からの生活に希望や期待を抱けるような活動を行っていきたいと考えております。保護者の皆様も心配なこと、不安なことなどありましたらいつでもお気軽にご相談ください。今年度も残り1ヶ月となりますが、どうぞ宜しくお願い致します。



今月のわらい

- ・ 戸外遊びを通して季節の変化を感じる。
- ・ 生活に見通しを持って過ごし、衣服の着脱や排泄など意欲的に行う。

今月のうた

- ・ いしんいしんいしん
- ・ おはながわらった



2月18日の成長展では、多くの方がひとつひとつの展示物をじっくりと見てくださったこと、私たち職員の説明に熱心に耳を傾けてくださったこと、心より感謝申し上げます。

この成長展の特徴は、通常の作品展とは異なりただ単に子どもたちの作品を展示するのではなく、同じ活動を年度初めと年度後半に行い比較することで、その子自身がどれくらいできることが増えたのかを見ていただく機会としている点です。今回のつくし組の展示でもそれぞれの子が、点描や弧状の描写から円状の描写に変わっていく様子、喃語や単語での表現が2語文などの文での表現へと発達していった様子をご覧いただきました。発達のスピードも感性も様々な子どもたち。他の子の作品との優劣をつけるのではなく、その子自身がどれだけできることが増え成長したのか感じていただけると嬉しいです。



つくし組相談室

1月より実施しております個人面談にて出た質問、心配事など一部ご紹介させていただきます。

①トイレトレーニングっていつから始めればいいですか？ つくし組ではおむつ替えのタイミングで、まずは便座に慣れることを目的にトイレに行っています。おしっこをある程度溜められるようになり、おむつに排尿がなく、さらにトイレに座って出るようになるといよいよパンツを履いて…となります。焦らずゆっくりと進めていきましょう！

②お箸の練習はしたほうがいいですか？ まずはスプーンを正しく持てることが大前提です。上から握って持つのではなく下から鉛筆を持つと同じ要領で握って使えるようになることが箸への移行への第一歩です。またエジソン箸は普通の箸とは構造が異なり比較的容易に使えてしまうため、普通の箸へ移行したときに正しい持ち方が出来ずに苦勞するケースもあるようです。指先や手首が器用に動かせるようになると自然と箸も上手に持てるようになってきます。今は箸を上手に使いこなせるようになることよりも、楽しく食事をすることを心がけてみてはいかがでしょうか。

③お友だちを叩いたりしていないか心配です 少しずつ自分の思いを言葉で伝えることが出来るようになってきてはいるものの、なかなか自分の思いが相手に伝わらずに最終的に手が出てしまうこともあります。それでも叩いてしまった後に決まり悪そうにしている様子から、叩くことはいけないことだという認識が出来てきているように感じます。